

# 第一次世界大戦

参加申し込み不要  
どなたでもご参加いただけます。

## 講演と映画上映会のお知らせ

**映画** サラエボ・ここから世界の混乱が始まった  
(ドイツのテレビ番組・日本語字幕付 45分)

**講演** 戦争が近づいた時—1914年夏何があったか  
クリスティアン・ラップ氏

(ドイツ語講演、日本語原稿を配布)

コメント 馬場優氏 (福岡女子大学国際文理学部准教授)

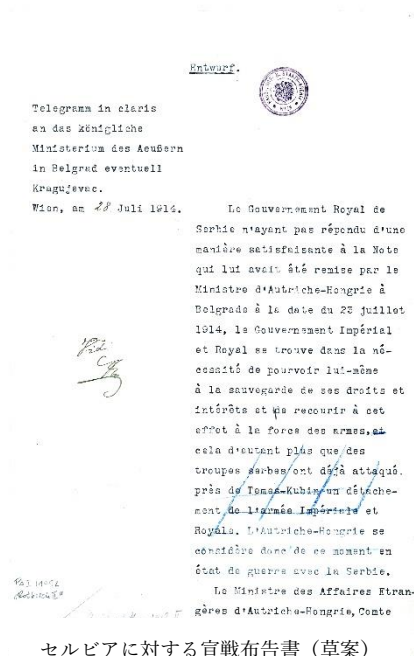
講演者 クリスティアン・ラップ

博士。オーストリアの州立歴史館館長。文化学者・展覧会計画実行者・大学講師の3本柱で活躍。代表的展覧会は、第一次世界大戦をテーマにした大展覧会「歓喜と悲惨—大戦争とともに生きる」(2014)は17万人の観衆を呼ぶ人気を集めた。

\*\*\*\*\*

映画『サラエボ—ここから世界の混乱が始まった』

戦争とは人間の、故郷の、祖国の破滅だ。こんな目に遭遇したいと誰が思うだろう。できるなら顔を背けているあいだに過ぎ去ってくれれば…あるいは、それほどひどいことは自分の身に限っては起きないだろう、と人はとかく希望的観測をするものだ。戦争勃発の3日前にさえ、当の皇帝館も開戦は頭になかった。まして4年後には自分の帝国が崩壊、全てを失うことになるなんて。歴史家が自国の犯した過ちを見据え、世界に訴える、心打つドイツのテレビ番組。



セルビアに対する宣戦布告書(草案)

主催 社団法人 第一次世界大戦博物館

共催 ハプスブルク史研究会 / J S P S 科研基盤研究 (A) 「1918-19年像の再構築—継続と変容—」

日時 2018年4月28日(土) 14時~16時30分

場所 神戸大学人文学研究科B棟1階小ホール



人文学研究科B棟1階小ホール